

## IT推進委員会

委員 稲葉允章（富士宮RC）



## はじめに

2003～04年度にIT推進小委員会（当時）は3ヶ年の活動計画を策定し、地区84クラブ全てへのITインフラ整備推進の活動に着手し、パソコン普及率は100%になりました。ここに至るまでには、委員会として、未導入クラブへ卓話に訪問し、その必要性についてのお話させていただいたり、地区研修セミナー・PETS・地区協議会においては、地区IT活用の重要性を説いて参りました。当時の渡邊脩助ガバナー、山岡地区幹事（2003-04年度）、鈴木亀雄ガバナー、井上地区幹事（2004-05年度）様には大変なご尽力を賜り、また各クラブの会長・幹事様他会員の皆様にはご理解とご協力をいただいて成し得た事に心より感謝申し上げます。

そして今年、井上雅雄ガバナー年度から2620地区IT推進の本丸に着手していくこととなります。その事業が地区84クラブでのパソコン・インターネット活用度の格差を是正することです。導入された機器（道具）は、やはり使わなければ機器ではありません。現在、依田委員長を中心に、これからどのように各クラブへのご提案なりご指導をしていけば良いかを委員会で検討しながら、取組んでいる最中でありませう。

## 時流（デジカメの餌は何だと孫に聞く・・・）

さて話は変わりますが、日本の情報技術（IT）も日々変貌を遂げています。例えば、パソコン（Windows 2000からXPへそしてWindows Vista）、携帯電話（通信機器から音楽配信・TV閲覧・お財布機能にGPSによる地図閲覧、etc）等々の移動体通信機器は今や通信機の域を超えて新たな機能を次々と世に送り出しています。まったく進歩が早すぎてついていけないですね。しかし、私達よりも若い世代はどうでしょうか。過去、我々は電卓の出現で驚き、FAXやコピー機の便利さに感動しインターネットの出現に戸惑ったのに、21世紀に次々に生まれる携帯電話やパソコン他の新しいメディアを、彼らのごく自然に受け入れ、そして普通に利用しています。現に電卓、そしてFAXやコピー機のない仕事や生活は考えられませんね。良し悪しは別としてこれが時流なのです。ですから今、この時流から外れ2620地区の情報技術（IT）推進活動を疎かにしてしまうのは聊か難しいことなのです。

第一生命のホームページにサラリーマン [http://event.dai-ichi-life.co.jp/senryu/15\\_bt10\\_1.html](http://event.dai-ichi-life.co.jp/senryu/15_bt10_1.html) 川柳のサイトがあります。ご覧になった方もいるかと思ひます。ここに第15回で見事に最優秀賞1位に輝いた川柳をご紹介します。「デジカメの餌は何だと孫に聞く」如何ですか。皆さんはこのようなことを孫に聞くことはないですよ。もうひとつご紹介しましょう。第14回で1位の最優秀作品は『ドットコム (.com)、どこが込むのか聞く上司』。思わず笑ってしまいますね。皆さんはどうですか、「私はそんなことない。」と思ひていますか。「私は、ITなど解らなくても何とかなる。」とか、「パソコンは使えなくても社員や家族が代わりにやってくれるから不便はない。」などと他人ごとにしないうで欲しいのです。新しいメディアは習うのではなく慣れることが大切なのです。ですから、皆様のクラブも解る人がやれば・・・ではパソコンに埃が積もってしまいますね。

## 世界から見た日本の情報技術（IT）利用

それでは、グローバルに日本を見たらどうでしょうか。今の日本社会は、進化するIT化に何の抵抗も持たずに生活しています。それが時流なのです。ですから我が国は情報技術（IT）で世界のトップを邁進していると思っている方も多いと思います。しかし、我が国は世界のIT推進及び活用ランキング第16位ととても低い位置にあります。アジア諸国の中ではシンガポールがアメリカに並んで世界1位になっています。ご存知でしたか。日本はシンガポールに比べ随分と遅れていますね。そして、台湾はと申しますと世界で7位、香港11位、韓国に至っては14位と日本の情報技術（IT）利用・環境・インフラ整備よりも遥かに優れているのです。（ダボス会議記事参照）何か感慨深いものはありませんか。しかし、これが現実なのです。その要因は色々と考えられます。一例で紹介しますと、シンガポールでは、主な産業がなく世界経済で生き残るために情報技術（IT）化の推進・IT技術系人材の育成を選択致しました。今やシンガポールでは、IT教育（日本のパソコン教室）機関は国の管轄下に置かれ、すべての国民が無料でパソコンやインターネットを習うことができます。また、町の至る所に（日本でのコンビニの数ほど）施設が設けられていて、お年寄りから若年層に至るまで国家に雇われたインストラクターが誰でも、いつでも、何時間でも指導教育してくれるそうです。まったく羨ましくなるほど優れた国営システムを持っています。私は常々このような教育システムが日本にもあったらいいのにとおもいます。そうすればきっと、「デジカメの餌は何だと孫に聞く」などと言われる方は少なくなりますね。

## 最後に

現在、ガバナー事務所ではIT推進のインフラ整備に伴う事務処理の改革にスタッフ全委員が一生懸命に取り組んでおります。是非、今後も地区のIT推進を円滑に進めていくためにも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



COMMITTED TO  
IMPROVING THE STATE  
OF THE WORLD

The World Economic Forum is an independent international organization committed to improving the state of the world by engaging leaders in partnerships to shape global, regional and industry agendas.

INITIATIVES    EVENTS    MEDIA CENTRE    ABOUT US    KNOWLEDGE NAVIGATOR

---

**India Summit sets agenda for building infrastructure, talent pool**

Thrust somewhat reluctantly into the vanguard of globalization, India must now seize the opportunity to strengthen the foundation of its remarkable growth by uplifting its rural poor, agreed participants at the close of the 22nd India Economic Summit. The meeting, held in partnership with the Confederation of Indian Industry, brought together more than 600 business, political and civil society leaders from over 30 countries to focus on the theme "Meeting New Expectations".



[India Economic Summit | India Issues Survey](#) | [Press release](#)

---

ダボス会議を主催するスイスの民間経済研究機関『世界経済フォーラム』（WEF）はスイスで28日（現地時間）、各国の情報技術（IT）への対応度を格付けした2005～06年版『世界ITレポート』を発表した。前年5位に転落した米国がトップに返り咲き、日本は8位から16位に転落した。世界115の国・地域について、情報通信技術関連の環境、準備態勢、利用状況という3つの指標で評価して、競争力を比較した。新ランキングは、米国（前年5位）、シンガポール（同1位）、デンマーク（同4位）、アイスランド（同2位）、フィンランド（同3位）がベスト5で、北欧勢の強さが目立つ。日本は前年まで順調に順位を上げ、8位となっていたが、今年は一気に16位まで転落。アジアでは、シンガポールのほか、台湾（7位）、香港（11位）、韓国（14位）に抜かれている。なお、「BRIC」の一角を占めるインドは40位（前年同）、中国は50位（前年41位）だった。